平成30年第4回

山都町議会定例会

提案理由説明書

平成30年12月6日

平成30年第4回定例会を招集しましたところ、御参集を賜り、誠にありがとうございます。

はじめに、9月定例会以降の町政等についてご報告申し上げます。

台風の襲来は各地に大きな被害を与え、なかでも関西空港の被害は甚大であり空港機能の脆弱さを露呈しました。

また、北海道地震に伴う道内全域の停電は、電気事業者の安定した電力供給に大きな課題を突きつけました。一日も早い防災基盤の強化が望まれます。

幸いに山都町では、大きな被害もなく天候に恵まれトマトをはじめとした夏秋野菜の生育も順調で販売の方も大変好調であると聞いております。九州における主要産地として今後も町経済の牽引者として期待しています。

ところで、町が出資しております「有限会社 虹の通潤館」における不祥事につきましては、町民の皆様にご多大なるご心配とご迷惑をお掛けしております。出資者としての責任を痛感しますと共に組織管理体制の再構築と法令遵守の徹底を指導し、一日も早い信頼回復を図って行く所存でございます。

さて、スポーツ面では、全国障害者スポーツ大会で県代表として、飯星かすみさんが「砲丸投げ」と「ソフトボール投げ」の2種目で優勝されました。特にソフトボール投げは大会新記録という輝かしいものでした。

また、インドネシア2018アジアパラリンピックでは役場職員の藤嶋大輔君が走り幅跳びで日本記録を更新し、5位入賞を果たしました。2020年東京パラリンピック出場を期待したいと思います。

10月には「第6回町内・集落内福祉全国サミット」を開催いたしました。

地域福祉に携わる方々に全国各地からお集まりいただきました。超高齢化社会の到来が予測されるなか、今後の地域福祉のあり方や地域福祉の担い手の確保など、課題解決に向けた熱心な議論や優良事例の発表など大変有意義な大会でありました。

この大会を契機に山都町における地域福祉の輪が更に広がることを期待しています。

さて、11月に入り山都町にとりまして念願の高速道路開通という大きなニュースが飛び込んで参りました。長きにわたる関係市町村の熱心で地道な要望活動が実を結ぶ結果となりました。関係者の皆様方のご尽力に深く敬意を表したいと思います。

数年後の矢部インター開通を見据えた「まちづくり」は待ったなしです。官民一体となった取り組みの実現に向けて邁進していきます。

また、矢部～蘇陽間の整備計画から事業化への格上げにつきましても、熊本県側の取り組みとして、関係自治体と一層連携を深めながら取り組んで参ります。

熊本地震と豪雨災害から復旧復興につきましても引き続き町政の最重要課題として、国や県の関係機関への働きかけを行うとともに地元企業の皆様と一丸となって取り組んで参りますので、町民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に、今定例会に提案しております議案についてご説明いたします。

今回の定例会に提出する議案は21件で、報告1件、条例5件、補正予算3件、その他12件です。

報告第11号は、平成28年度山都町一般会計継続費の精算報告です。

議案第62号は、町が加入しています一部事務組合理約の変更です。

議案第63号と第64号は、工事請負契約に関するものです。

議案第65号から第69号は、それぞれ必要な条例の一部を改正するものです。

議案第70号から第72号は、平成30年度における一般会計と特別会計の補正予算に関するものです。

議案第73号から第79号は、町が管理します七施設の指定管理者の指定に関するものです。

諮問第1号は、人権擁護委員の推薦に関するものです。

以上、提案理由について説明いたしました。

詳細については、担当課長から説明させますので、適切にご決定をいただきますようお願いいたします。